

更新水難救助艇

1 更新救助艇の概要（現行救助艇との比較）

項目	更新水難救助艇	現行水難救助艇
規格	アキレス FRB-104	アキレス SG-140
導入年度	—	平成22年度（2010年度）
全長	3,150mm	4,250mm
全幅	1,580mm	1,750mm
重量	58kg	115kg
最大搭載人数	4人	6人
最大搭載馬力	9.9馬力	45馬力
参考写真		 ※写真はSG-140です。
項目	更新船外機（予定）	現行船外機
規格	トーハツ MFS9.8BS	ホンダ BF30D LBSN
出力	9.8馬力	30馬力
排気量	209cm ³	552cm ³
重量	37kg	78.5kg
参考写真		
仕様	沿岸域での活動を主とする仕様	沖合域での活動を主とする仕様
運用	消防署を起点として運用	葉山港を起点として運用

2 更新救助艇の仕様選定理由

●運用内容を見直し、現行仕様から船体を縮小し機動性を重視した仕様に変更

陸上輸送性、可搬性および操縦性等の向上により、機動性を持った運用を図るとともに、水上部隊と陸上部隊との連携した救助活動を展開することで、更なる水難事案への対処能力の向上を目指します。

- ・現行救助艇のメーカー推奨耐用年数は10年【導入から13年経過】
- ・本町海岸沿いの入り込んだ地形や、磯場の捜索に適しています。